

まあとてゲーム（第1学年）

運動の特性

ねらった的に向かってボールを当てたり、的を倒したりして楽しむゲームである。ボールを操作できる位置に動いたり、ねらったところにボールを投げたり、ねらったところに強くボールを投げたりする等、攻めの動きを楽しむことができる。

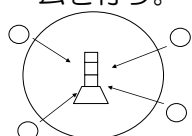
1 単元目標

技能	・ボールをねらったところに、強く投げることができるようにする。
態度	・きまりを守り、仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
思考・判断	・ゲームの規則を理解し、いろいろな投げ方をすることができるようにする。

2 2年間を見通した評価計画

	1年生		2年生	
	評価規準	具体的な児童の姿	評価規準	具体的な児童の姿
技能	・投げる、転がす、バウンドなどの簡単なボール操作ができる。	○ボールをゴールに向けて投げたり、転がしたり、バウンドさせたりしている。	・投げる、捕るなどの簡単なボール操作ができる。 ・ボールを持たないときの動きができる。	○ボールをゴールに向けて投げたり、友達にパスしたり、友達のボールをキャッチしている。 ○ボールを持っていない時にシュートが打ちやすい場所をみつけて動いている。
態度	・きまりを守り、友達と仲良く進んでゲームに取り組もうとしている。 ・場の安全に気をつけようとしている。 ・勝敗を素直に受け入れようとしている。	○きまりを理解し友達と楽しんでゲームに参加している。 ○用具の安全な扱い方がわかっている。 ○勝敗を素直に認め、挨拶をきちんとしている。	・きまりを守り、友達と仲良く進んでゲームに取り組もうとしている。 ・場の安全に気をつけようとしている。 ・勝敗を素直に受け入れようとしている。	○きまりを理解し友達と声を掛け合いながら積極的にゲームに参加している。 ○友達と一緒に安全に用具の準備や片付けをしている。 ○勝敗を素直に認め、挨拶をきちんとしている。
思考・判断	・ゲームの行い方や攻め方を知らうとしている。	○ゲームを通して、どんな攻め方があるのかを考えて、いろいろな動きを試している。	・ゲームの行い方を選ぼうとしている。 ・攻め方を見つけようとしている。	○楽しくゲームができる場や得点方法など簡単な規則を選んでいる。 ○考えたり、試したりして、攻め方を見つけている。

3 学習過程（全5時間）

	知る・試す		慣れる・広げる			
時	1	2	3	4	5	
学習過程の工夫	的をねらってボールをたくさん投げる。		協力して、まとあてゲームを楽しむ。			
	集合・整列・挨拶・準備運動					
	① 教師の指導に合わせて、いろいろな動きを行う。 ② まとあてランドの遊び方を知る。 ③ まとあてランドで遊ぶ。	① まとあてランドで遊ぶ。(ウォーミングアップ) ② 前時の学習の振り返りとポイントの確認 ③ まとあてゲームのルールを知る。 ④M ゲーム<1>をする。 ⑤T うまくいったことの共有をする。 ⑥M ゲーム<2>をする。		③M ゲーム<1>をする。 ④T チームごとに作戦を考え、発表する。 ⑤M ゲーム<2>をする。		
	整理運動・振り返り・挨拶・片付け					
ゲーム設定の工夫	<ボールランド> ○コーン倒し ポートボール台の上にコーンを乗せる。コーンに向かって、ボールを投げ、コーンを倒す。 ○的当て 壁に書かれた的に向かってボールを投げ、的に当てる。 ○輪っか通し 大きさの違う輪っかを吊るし、輪っかに触れないようにボールを中に通す。 ○ジャングルジム通し ジャングルジムの枠を通して反対側までボールがいくよう投げる。 ※レベルに合わせて、スタートラインを3本引き、遠くから投げられるようにしていく。		・コートの中は半径2.5mとし、円の中央にポートボール台を置き、その上に段ボールを3つ積み重ねる。 ・全チームが攻となり、一斉にゲームを行う。  ○児童 □段ボール ※段ボールはポートボール台の上に乗せる。		・大きさや形、硬さの違うボールを何種類か用意する。 (本単元では、ソフトドッチボール1号【つかめる柔らかい大きさのもの】、ソフトドッチボール2号、ラグビーボール、ミニラグビーボール、Tボール用ボールを用意した。) ・自分の扱いやすいボールを選び、選んだボールでゲームを行う。 ・ジャンピングタイム(T)にボールを変更しても良い。	
	ここがねらい！ いろいろな場を設定し、ボールを投げ、的に当てる楽しさを味わわせる。		ここがねらい！ 段ボールの積み上げ方は自由とし、チームの作戦とする。ボールを投げて楽しむ時間を多く取る。		ここがねらい！ 色々な種類のボールを投げることを通し、自分の投げやすい、的をねらいやすいボールを探し、楽しむ。今後使用するボールに触れ、親しませる。	
					・作戦タイム(ジャンピングタイム)は10分取る。 ①チームで話し合う。 ②全体で発表し、共有する。 ・「きらきら言葉」「ぐんぐん言葉」を共有する。 ※タブレット端末→良い動きを撮影し、良い動きを知る。 ・良い投げ方のフォーム(足の開き方、腕の使い方、目の方向) ・ゲームで段ボールが一気に崩れた時。 (段ボールのどこを狙っているか、チームの協力) (学習の振り返り時活用)	
					ここがねらい！ 学びあいの仕方を知る。チーム意識を芽生えさせ、協力する楽しさを味わわせる。	

教師の指導・助言

(○評価規準に達していない児童 ◎評価規準以上の児童)

観点	学習状況	だれに	助言例
技能	ボールを投げる	うまく投げられない	個人 ○ボールを両手で顔の横に持ってこよう。 ○両手でひっぱって投げてみよう。 (以下、手でつかめる柔らかい大きさのボールの場合) ○片手で投げてみよう。 ○ボールを片手で掴んでみよう。 ○指でボールを支えてごらん。 (見本を見せる。)
		両足を揃えて投げてしまう	個人 ○体を横にして、投げよう。 (ボールを持った手の方が後ろになるようにする。)
		前に出す手と足が揃ってしまふ	個人 ○体を横にして、投げよう。 ○ボールを持った手と反対の足を前に出そう。 ○反対の手を前に出して投げてみよう。
		ボールを投げるタイミングがつかめない	個人 ○ひらいて(体を横にする) パタン(肘を曲げる) とんでいけ～(ボールを前に投げる) 【投げの型】
		遠くへ投げるができない	個人 ○頭の後ろから勢いよく投げよう。 ○的よりも少し上に向かって投げてみよう。 ○足でステップを踏んでみよう。 ◎体全部を使って投げているね。
	的をねらう	的に当たらない	個人 ○的をよく見よう。 ○投げ終わるまでの的から目を離さないようにしよう。 ○的よりも少し上を狙ってみよう。 ○ボールを持っている手と反対の手で的を指さして、投げてみよう。 ○的に近い足を、的の方に向けてから、ボールを投げてみよう。
		的に当たるが、投げ方が弱いため、的が倒れない	個人 ○頭の後ろから勢いをつけて投げよう。 ○1, 2, 3で投げてみよう。(助走させる。) ◎的の下の方にボールが当たると倒れやすいということに、よく気がついたね。しっかりねらっているね。

態 度	きまりが 守れない	投げる線を越えてしま う。	個人	○線を守って投げているね。えらいね。 (守れている場面を称賛)
	仲 良 く で き な い	認め合いが見られない	チーム	○「どんまい」「ナイス」「頑張ろう」等き ら言葉をどんどん使おう。
		ずっと一人での的を崩し てしまう	チーム	○みんなが楽しめるように、「せーの」で投げ よう。 ○役割を決めよう。 (段ボール積み上げ役等) ○チームのみんなが的を崩せるといいね。 (みんなが崩したらボーナス点等ルールを工 夫する。)
		あきらめてしまう	個人	○2回当ててみよう(数値目標を伝える) ○先生と一緒に投げてみよう。
			チーム	○「いいね」「ナイス」「どんまい」等励まし合 うよう声をかけ合おう。
	安 全 が 守 れ な い	準備や片付けがで きない	個人	○ボールがきれいに片付けられていると気持 ちがいいね。 ○素早くできると、ボールを投げる時間が多 くなるよ。
			チーム	○準備や片付けもチームワークだね。 役割分担を決めてやろう。
思 考 ・ 判 断	攻 め 方 の 工 夫 が で き な い	自分の意見を通そうと する	個人	○友達もいいことを考えているよ。それぞ れの動きのいいところを見つけられるといい ね。
		話し合った攻め方がわ からない	個人	○ジェスチャー也使おう。 ○動きの見本を見せてもらおう。
			チーム	○話し合った動きを、動いて確かめよう。
		作戦が立てられない	チーム	○どう投げたらよいか。 ○立つ場所を考えてみよう。 ○投げる順番を決めよう。 ○狙う的を決めよう。
		投げ方を工夫しない	個人 チーム	○まだしたことのない投げ方にも挑戦してみ よう。 ○いろいろな投げ方のいいところを見つけ られるといいね。 ○違うボールでも当てられたらすごいね。 ◎●●さんは、友達のいいところをしっかり 見ることができたから、まねができたね。 上手になったね。